

7. 脳性麻痺にみる問題児

高知県立子鹿園

西村仁美（8回卒）
津野福江（8回卒）

7. 脳性麻痺にみる問題児

高知県立子鹿園

西 村 仁 美(8回卒)

津 野 福 江(8回卒)

脳性麻痺児は、本来の運動機能障害は、もとより、その合併症であるけいれん発作、その発作による知能の低下、性格の変化、言語障害、目、耳の障害、知覚、行動異常等が大きな問題である。中でも行動異常に伴う脳性麻痺児は、動く重症児といわれ、養育者の悩みになっている。

今回、当園で、多動性行動異常児(Y児)を看護する機会を得たので、その紹介をかねて、落つき指導、生活訓練のつけ方(A・D・L訓練)の問題を検討し、若干の効果を報告する。

(1) Y児の紹介

1. Y児の持つ問題点

- ① CP本来の運動機能障害(右片麻痺)
- ② けいれん発作
- ③ 多動性行動異常
- ④ 知能障害
- ⑤ 言語障害

2. 生育歴……………資料Ⅰ参照

3. 心理テストの所見……………資料Ⅱ参照

4. 医学的診断……………資料Ⅲ参照

5. 入園時の状態報告……………資料Ⅳ参照

- ① 多動に対して
- ② 行動異常
- ③ A・D・L
- ④ 言語

6. 上肢の機能的効果について……………資料Ⅴ

Y児の本来の目的である上肢の機能効果については、資料Ⅴの2～3の段階で、上肢機能の改善は期待できず、他動的に拘縮予防のため屈伸運動をしている状態である。

(2) 多動をおさえ、生活習慣をつける。

1. A・D・L評価表による基本的なA・D・Lの習慣化……………資料Ⅵ

- ① 多動をおさえるために日課表をY児の能力により、ごく基本的な動作にしほり、必要でな

い刺戟をおさえ、日課表に忠実に全員が同じ方法で接する事につとめた。

- ㊤ A・D・Iを排泄、食事、更衣、学校、洗面動作群に分け、Y児の能力により、基本的な動作目標を作り、評価基準として○△×（○……自立、△……半介助、×……全介助）を用い、毎日の生活の場で、くりかえし練習し、A・D・Iの習慣化につとめた。

2. A・D・I評価表による指導の実際

① 排泄の自立

- トイレで排尿、便を促す
- 両便がたまった事を、とらえさせ、トイレへ行くことを覚えさせる。
- 排泄に関する諸動作、衣類の始末、手洗いを教える。

② 食事の自立

- 食堂を教える
- 手洗いをして、自分の席へ行く
- 左手でスプーンで食べる
- 右手を食卓の上におく
- よくかんで食べる
- 手拭で口のまわりをきれいにする。

③ 更衣の自立

- だらしくならないように、まわりの者が、きちんとした服装をさせる
- 能力にあった服装の工夫
 - 上 衣……・えりなし、ボタンなしのかぶるもの
 - ・マジック使用
 - ・ボタンの大きさ
 - 下 衣……・ゴムつきのわるいもの
- 着脱のテクニックを教える
- 実生活の場で、起床、就床、入浴時に練習する

④ 洗面の自立

- 洗面所へ行く
 - 洗面道具を出す
 - ブラシのテクニック
 - うがいをする
 - 洗面する
 - 道具をもとにもどす
- } くりかえし学習することにより、何故歯みがき、洗面するかの理解をさせる。

⑤ 通学の自立

- 看護婦から教師へと、手から手の指導
- 監視は通学
- 友達を1人おもりにつけて監視付
- 友達と通学
- 1人で通学(監視付)
- 自分の教室、机を知る
- カバンをおろし、中味を出して所定の場所にかける
- 着席して、口をつむって待つ

以上の結果、各動作群で、排泄、学校動作は、ほぼ、習慣化し次の段階へ移行可能となった、その他の動作については、まだ、相当時間を要し、特に更衣動作は困難である。……資料Ⅶ

3. 躰の尺度表……資料Ⅶ

洗面、入浴、排泄、着脱衣、食事、整理整頓、多動、友人関係、言語発達、社会的発達の10項目を作り、各項目について、0～10の段階とし、入園時と現在の能力評価をしてみた。結果、洗面、入浴、排泄、着脱衣、食事、多動、友人関係、言語発達の各項目についてわずかではあるが改善がみられた、中でも問題の多動については、0→3の段階へと、かなりの落つきをみた。

以上指導上の問題点を整理した。

1. 落つき指導にしてもA・D・I訓練にしても誰れが1人ついていなければならない。
2. IQが低く、理解さすのに困難
 - 指導の手段として教材に何を用いるか
 - 指導のテクニックを知らない
 - アドバイスしてくれる指導者がいない
3. 右片麻痺がある。

口は、加えて片麻痺の指導テクニックを要する。
4. 言葉がない、内言語はあるようだが、コミュニケーションがうまくとれない。
5. 落つき指導、以前の問題がある。
 - 学校と園の環境の相違
 - テクニックの問題
 - 病棟を常時教育の場とするか、息ぬきの場とするかの問題
6. 刺戟の多い中でのコントロールをどのようにするか等の問題があった。又、施設でのⅤ児をとりまく問題から施設がし体不自由をポイントにしている限り、ある程度の限界があることを

知りこれらの子鹿園の考え方に大いに参考となった。……資料Ⅱ

おわりにY児のリハビリテーションについて考えてみると、

1. 集団生活からはみ出し、常に一対一でなければならない状態では、誰れかがついていなければ社会に通用しない。一対一では親がみることとなる。

— 家庭へかえる —

2. Y児と同じレベルの仲間の中での教育

— 他の適当な施設 —

3. Y児以上の能力の集団の中での教育

— 子鹿園在園、普通校 —

以上が考えられるが、Y児が、どこで療育されるのが一番いいのか、私達のわずかな経験から判断することは難しい。確かに底辺の者をひき上げて行く考え方は正しいが、CPに対するアプローチが、し体不自由にむけられている以上、施設にも限界がある。これからは、てんかん、MR行動異常など各方面から総合的にアプローチし、早くこの子等のために、有機的な具体策を実現する必要がある。

動く重症児のリハビリテーションは多難である。

事例の概要

Y. Y児(男) S. 43. 5.31生、S50.4.17日入学 年令6才

(1) 問題の概要

脳性マヒ(右片マヒ 行動異常 知能障害 言語障害)

両親のY児に対する態度

何をさせても、できないということで、何もさせなかった。ただ自由放題の形であった。

ほとんど家の中で遊ばせ、外に出ると、すぐつれにいくという有様であった。母はいたってのんきである。父はよく面倒をみて相手になっていた。

(2) 生育歴……資料Ⅰ

妊娠時 (父母健康)第2子 過去に流産なし

胎生時 位置正常

生産時 出産状況 安産 在胎10カ月 体重3.750g 授乳は人工乳

乳児期 生後7カ月随膜炎にかかる。

幼児期 発育状態は普通、保育所へは5才の時11月～3月まで通う

入学時 50年1月～50年3月 県教育センター-特殊教育部において就学相談をうける。

(親子の教育相談及び心理治療)

(3) 心理テストの所見……資料Ⅱ

ア TK式田中ビネー知能検査

CA: 7才3月

MA & IQ算出不能

(推定知能30~40?)

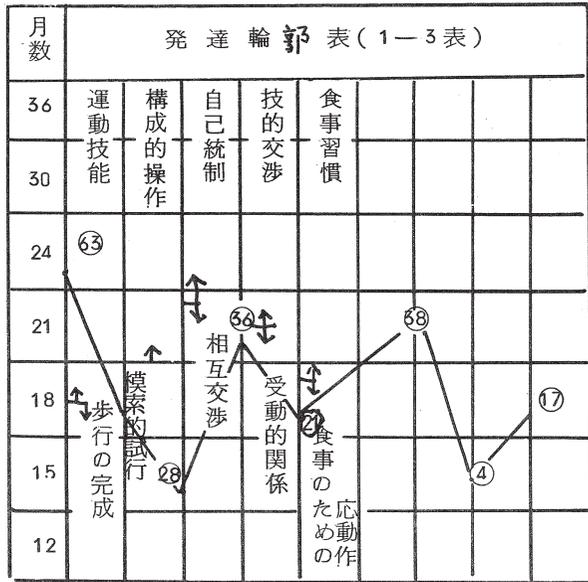
イ. 乳幼児精神発達診断検査

(津守式)

CA: 7才3ヶ月

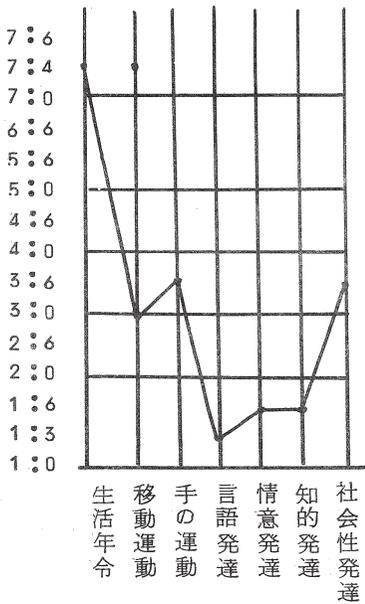
DA: 1才4ヶ月

DQ: 20

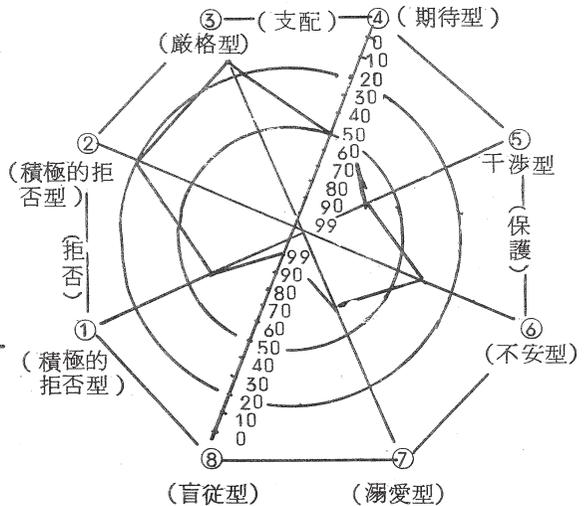


健動 模索 おとな子ども
 操作 社会 食事 排泄生活 理解 言語
 習慣 理解 言語

乳幼児分析的発達検査
 (遠城寺式)



親子関係診断テスト(母親)



矛盾型 65 不一致型 60

(4) 医学的診断……………資料Ⅲ

ア. 障害児 脳性マヒ (右片マヒ)

随伴障害、知的障害、てんかん、脳損傷型の行動異常 (多動性) 言語障害

イ. 病状の発生と経過

生後7カ月 (S4 4.1月) 化膿性髄膜炎罹患 2週間意識混濁 濁右上下 ケイレン

1カ月後右半身マヒに気づく (個人病院小児科)

県立総合病院小児科入院 (S4 4.2)

検査診断 ○ 右上 屈曲位のまま全く動かない。右下 は動くが左より悪い

○ 軽度の顔面神経マヒ

○ 腱反射、両方に異常があるがやや悪い。

○ バビンスキー反応 左(+) 右(-)

○ 脳波検査 左後側頭部より除波性刺波を認める デルターシーター S波にQ波が混入した異常波型)

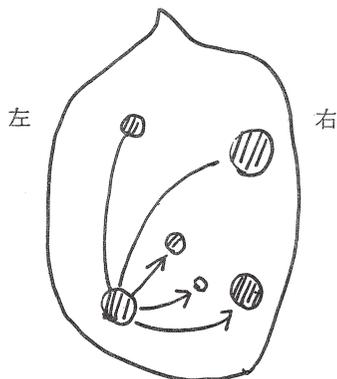
○ 脳血管撮影 左側頭部脳動脈欠除、以上のことより化膿性髄膜炎を経過したあとの病像であり、上記障害を発生したと診断される。

○ 45年5月～48年11月にかけて子鹿園へ6回の母子入園を行なう。

この間、上記総合病院にて脳生理学的検査を受ける。S46年10月、3才をすぎても脳波検査にd波出現せず。

○ 48年2月 右アキレス腱延長術

○ 48年11月 (5才) 左後頭部からの鋭波のほか左頭頂部、さらに右半球の同じ場所からも出現。図のように障害部位 (脳の電気生理的機能障害) は1才頃の所見と比べ非常に拡大している。



(5) 入園児の状態……………資料Ⅳ

1. 多動性……………24時間の動線によると、1日4～5Km動く
2. 行動異常……………道路にとび出る等安全観念が全くない。

消毒液を、すくってのむ

トイレの水で手を洗う

3. A. D. L

移動……………睡眠、食事以外は多活動（数分間じっとしておれない）

排泄……………時々失敗する、手でおさえて知らせる

更衣……………全介助

食事……………スプーンで口に運ぶことは出来る

整容……………洗面、その他身だしなみ全介助

4. 言語

構音可能……………オ、カ、ハ、ヤ、ピ、ウ、バ、etc

発語……………コワイ、カマン、オー、ハイ、バイバイ

内言語……………あるようだ

(6) 片麻痺(上肢)のBrunnstromのテスト……………資料Ⅴ

分類と経過分類

段階1……………随意運動なし（弛緩期）

段階2……………共同運動または、その要素の最初の出現（痙性発現期）

屈筋共動運動、伸筋共同運動）

段階3……………共同運動またはその要素を随意的に起こしうる

屈筋共同運動、伸筋共同運動

段階4……………基本的共同運動から逸脱した運動（痙性やや弱まる）

手を腰の後方へ、腕を前方水平位へ、回外回内

段階5……………基本的共同運動運動から独立した運動（痙性減少）

腕を横水平位、頭上まで挙上、伸屈位で回内外

段階6……………協調運動ほとんど正常

日 課 表 ……資料VI

赤丸 指示なくできる ○一人でできる

月 日 曜日 △半介助 ×全介助

		チェック	深夜	日勤	準	夜	
洗面	洗面所へ行く						
	洗面道具を取る						
	歯ブラシをぬらす						
	歯みがきをする						
	含嗽をして水を吐き出す						
	顔をあらう						
	顔を拭く						
	道具を仕末する						
トイレ	便	排便中水を流さない					
		トイレットペーパーで拭く					
		ペーパーを便器に落とす					
		水を流す					
登校	手洗いをする						
	カバンの中に本を入れる						
	カバンを背負う						
下校	寄道をせず登校する						
	カバンを下ろす						
	本を出して台に置く						
食事	カバンを台に置く						
	食堂に行く						
	手を洗う						
	あいさつをする						
	かむ練習						
	オシボリで口を拭く						
	箸で食べる						
右手を台の上のせる							
更衣	脱ぐ	くすりをのむ					
		ハンツ					
		ズボン					
		シャツ					
	着る	ソックス					
		ハンツ					
		ズボン					
		シャツ					
		上衣					
		服の前後がわかる					
観察時間				18:00			
15:00				/			
/				18:30			
16:00				観察時間			
その他							
スピーチ							

Y 児の A. D. L 評価………資料 VII

動作群	各 動作	月											
		6	7	8	9	10	11	12	1				
食 事 動 作	食堂に行く												
	手を洗う												
	あいさつをする												
	かむ												
	オシボリで口を拭く												
	スプーンで食べる												
	右手を台の上におく												

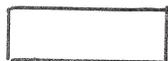
整 容 動 作	洗面所へ行く												
	洗面道具をとる												
	歯ブラシをぬらしてつける												
	歯みがきをする												
	含嗽して水をはき出す												
	顔を洗う												
	顔を拭く												

排 泄 動 作	トイレに行く												
	ズボンをおろす												
	後始末をする												
	水を流す												
	手洗いをする												

動作群		月										
		各動作		6	7	8	9	10	11	12	1	
更衣動作	脱ぐ	パンツ										
		ズボン										
		シャツ										
		上衣前ボタン										
	着る	パンツ										
		ズボン										
		シャツ										
		前ボタン										
		服の前後がわかる										

学校動作	カバンを背負う										
	寄道をしな										
	本を机の中に入れる										
	カバンを置く										
	着席する										
	口をつむる										

 → 要 介 助

 → 自 立

様 尺 度 表 ……資料Ⅶ

氏 名 生年月日	台帳番号		検査日	備 考		
	男 女	病 名		① S 5 0. 4. 1 — ④	⑤ ⑥	
昭和 年 月 日 生			② S 5 0. 1 2. 2 6 ……	③		
10			いつもきれいに出来自立している。	いつも入浴の準備洗体をきちんとする仕末をきちんとする	排便 遺尿 夜尿もなく衣類 便器を汚さずに排泄出来る	自分できちんとして出来る
9			力を入れて一応できているが時々洗顔、ハミガキで衣服を汚すことがある。	所要時間がかかりすぎぬけることあり確認必要	時々ぬけることがあるが大体自立している	大体自分でやれる時折確認が必要
8			一応できるのだが、のろく不完全、日によってむらがある。力が足りない洗顔一や不完全、拭き方わるい	洗体 拭くのは大体出来るが不完全	排泄のあととの服装手洗いがきちんとしていないので確認が必要	一応自分で出来るのだが時々必ず確認がいる
7			ハミガキは声かけがあれは順序通りいく洗顔は時々声かけがあれは手が部分に動き大できる。	洗髪がどうか出来る	尻の始末も出来るのだが現実でないのの確認が必要	袴袖口のボタン シヤツのすそなどが、又は何れかがきちんと出来ない
6			歯みがき「イー」をどうにか声かけで動かせる声かけ指示があれば洗顔はどうかにかいくが正しくは洗えない	空いている所をみつけて脱いだものと着るものを区別して仕末、着る時もまわちがわかない	下痢 不安定 言えない場面では瀉便、遺尿液尿がある	脱ぐこと 着ること一応自分でやるのだがきちんとしていない
5			歯みがき「ア—」なら声かけがあればブラシを動かせる手をぞえて洗面すれば直後のみ各部分に手がいく口の中でゴボゴボが出来	手拭を絞って渡し拭くことを指示すれば手拭を動かす。	トイレへ自分で行く尻の始末の紙を使うことが出来る小便は立ってやる(男)	前後表裏はわかかるが小さなボタンや順序が現実でない

姿勢もよく箸も正しく 食べ そしゃくも食べ 方もよい	自分で登校準備が間違 わずに出来る	時間おきの監視でよい	なんとか普通に遊ぶ	赤ちゃん言葉の卒業	自分で服が着られる
食べる姿勢が悪く キヨロキヨロしたりす る	時々ぬけるが大体自立 確認必要	居場所を確かめて遠視 の監視	友人の数も少しづつ 増える	接続詞や助詞を使う	排便の自立
正しく食器をもつよう になり主食、副食の食 べ合せがどうにか出来 る	一応出来るが遅く不完 全で日によりむらがあ る。	友人がいれば2時間位 遊ぶ	NSはなくて2-3 時間遊ぶ	自分の姓名がいえる	排便の自立
の持ち方は正しくも てだすが続かない 魚の骨とりや小さい物 がつかめぬ	自分の物に他人がさわ ると怒る 登校準備出来ず	友人がいれば1時間位 遊ぶ	NSはいなくて60 分遊ぶ	代名詞 これ あれ 僕 私等いう	靴が1人ではける
の持ち方 食器の持 ち方は独特でこぼすこ とがある	何とか学用品 おもち ゃの区別は出来ている	友人がいれば30分位 なら遊ぶ	NS共に30分遊ぶ	二語文を話す	はしの使用が出来る
の便い方は下手だが 余りこぼさないように 食べられる	しようとはするがきれ いに出来ない	友人だけだと時々部屋 からぬけ出す 鍵必要	NSと共に5~10 分遊ぶ	目 耳 鼻 髪を全部 指示する	スプーンと茶わんを持 って食べる

箸を使うがうまく使えずに探す スプーンなら上手	再々の声かけでしようとする気はあるがしない	NS付添いで1時間位いっしょにいる	NSの助言があれば何とかあそぶ	動詞がいえる	排尿の予告をする
スプーンを使用してどうにか食べるが、少しは硬い物のみ少しかむ程度	本服靴カバンを指定された場所におくが整頓はされない	NS付添いで30分位いっしょにいる	声をかけてくれる人には近ずいてゆく	四語言える	パンツをはかせると両足を開ける
個別機 特殊スプーンを使用して何とか食べる	他人の物にはさわらない	NS付添いで10分位いっしょにいる	特定の友人いない	二語出る	自分の名前がわかる
手ずかみで食べようとする気持はみせる 食べさせてくれと口を出してくる	他人の物とわかってもさわらない	定位置にいるのは食事入浴 排泄の時のみ	友人には関心示す	一語出る	父母 兄弟 身近な人がわかる
全く意志が働かず 全面介助である	自分のものと 他人のものとの区別が出来ない 自分の持物に対して無頓着	全然定位置にはいない	友人とは全く遊べない	バイバイに反応する	未知の人を恐れる
食 事	整 理 整 頓	多 動	友 人 関 係	言 語 発 達	社 会 的 発 達

医療上の問題

1. 他児への援助が、できなくなる
1. Y 君に Nr が一人とられるので他児に及ぼす影響は、いろんな面であり。
1. 1 対 1 の Nr がいるので他の子供に手がまわらない
1. Y 児にかかりきりなので、他児にサービスが低下して伸びる児に適切な援助が出来ない
1. 現在の Nr の人員で一人 Y 児にかかっているのは、他児へのいろいろな影響が出ている。
1. Nr がいつも、つききりであるため、他の子供に手が届かないことがあるのではないか
1. 他の子供のサービス、安全面が手うすになり何らかの形で問題が現われてくると思う。

行政上の問題

1. 事の善悪が解っていない様子があり、常につきそいが必要らしく現在の看護体制では、児を看護するのは無理ではないか
1. 病棟だけの問題ではなく園全体の問題と思う、精薄施設に入所させ、整形外科的療法の必要時その都度当園に入園させることが適当と思われる
1. 措置が適切かどうかの問題（行政上の）
1. Y 児のために最もよい施設を与えるべきではないか
1. 児の機能向上面を考える前に安全管理上問題があると思う。
1. し体不自由施設に入ってメリットが、はっきりしない、検討の時期ではないか

Y 君

1. 行動範囲にスピードがあり、そのため他児を見ながら、本児を観察することはむづかしいように思う
1. 施設の責任限度の問題（安全上）
1. Nr の仕事量の増加
1. 特に夜勤では安全管理ができない

安全管理の問題

おしみなく愛を！

1. 特に Y 児にかぎらず、問題のある子供さんの集まりですので、色々とトラブルのあることと思います、社会的奉仕精神のもとにその愛を全ての子供達に与えて下さい

人 手 の 問 題

1. Y君の係を1人つけると、その為到他児に手がまわらなくなるのでは
1. 1対1のつききりで大変だと思う
1. 彼のために、1人のNrが必要となり他のNrの仕事の量が多くなる可能性が強くそこに問題が生じるのでは…
1. 本児1人に24時間係が必要なこと
1. 詳しいことはわかりませんが、人手がいることはわかります
1. 昼間とはもかく、夜勤はNrの手がかかり大変だと思う
1. 常時本児の付添いが必要なためNrが1人とられるのではないか
1. 目がはなせないためNrが本児一人にかかりきりになり、手が足りなくなると思う
1. 1日中一人ついていなければならない
1. 具体的なことはわかりませんが、人手がいることはよくわかります
1. 外泊が月2回になっているので外泊しない日曜等は少ない職員の中から一人係が必要である
1. あちこちと移動している為常時Nrの観察を要する

設 備 の 問 題

1. 安全な場所がない

指 導 上 の 問 題

1. 小学1年生としての特別に指導が必要
と思う
ある程度の家庭的な情愛をもって指導してほしい
1. 病棟のスケジュールがY児の担当者も
同一人物でないのと同じように指導する
ことは困難なのでは……
1. 集団指導できないのではないか
1. Nrは手をとられるようだが、他児
に対する影響は少ないようだ
1. 他の子供より大変世話がいくように
思う
1. 集団処置上の指導についての問題
1. Y児の交友関係

(病棟の問題)

指導上の問題

1. 本児のみ特別扱いである
1. 預かった以上は実のあるものにしたい
1. 他部分は無関心
1. 少しずつだが進歩している
1. 私達の今迄の努力が、どこまで評価されているのか疑問だ
1. 早く退園してほしい
1. 病棟だけの問題だろうか
1. 他児へのサービスの低下
1. Y君の係になると精神的に疲れる

医療上の問題

1. 訓練というより の問題では…
1. 当園が本当に適当だろうか
1. 一貫した指導で全体問題として取りくみたい
1. 専門の指導者がいない

設備の問題

1. 安全な場所がない。

人 員 の 問 題

1. Y君の係になると疲れる
1. 早く退園してほしい
1. 1対1のつきっきりの看護である
1. 勤務者が少ない時は、看護業務に支障をきたす
1. 1日の看護業務が完全に消化できない。
1. トイレに行くのも気がねしている
1. 係になったからY君の保育に手がいっぱいできたが、い
1. 人手の一番うすい時間であり安全管理だけが精いっぱい、それ以上のサービスは出来ない。
1. 夜間は(準夜)3名中、1人がつきっきりで他の2名が全員の管理をしている
1. 他児にとっても(準夜)1日のしめくくりだが十分な目がとどかない
1. 特発事故の場合、全くお手あげ
1. 宿題をしていない等の問題が多いが、ゆっくりみてやる事ができない。

Y 君

家 庭 の 問 題

1. 基本的な躰ができていない
1. 母親の協力が少ない
1. 学校や病棟がこれ丈一生懸命なのにあまり理解されていない
1. 家族(母親)の病気に対する関心度がうすい

安 全 管 理 の 問 題

1. とにかく安全に
1. 早く退園してほしい
1. 目をはなしても安心できる場所がない
1. トイレに行くのにも気がねしている
1. Y君の係になると精神的な負担が大きい

(他児の問題)

重度棟からの転入児

1. 人手の問題
 - A. D. I訓練ができない
 - 遊んだり、話をきいてやる時間がない
 - 年少児が多く欲求不満が多い
1. 口だけの指導しかできない
1. Y児は特別だと納得してがまんしている

ベルテス児

1. 人手不足
1. 十分な監視ができず、安静時間帯でもまったく放置状態である

A 君

1. 発作が多く目が離せない
1. かまってもらえないので、Nrの気をひく態度がみられる
1. Y児が入園するまでは一番手をかけていたが急に放置したので、精神的な問題が生じてきた
 - 放方 夜尿が多くなった
 - 発作のまねをするようになった
1. Y児にしっとしている

二分脊椎児

1. 排尿管理(膀胱訓練)を行っているので係が1名必要で人手の足りない時でも必ず係がいる。
1. 人手の問題

B 君

1. 精神的な問題が生じている(トイレの失敗、ウソをつく)
1. スピーチがまずく、他児とのコミュニケーションが悪いがNrの接し方ではもっと上手な人間関係ができるのではないか
1. 受け入れてもらいたくて、つきまとうが相手になってももらえないため他所へ行く

E ちゃん

1. 実際はN r 1人の介助を要するが人手が
ならず、充分介助ができない
1. 本人も気がねして、用便の時とWCの
乗降の時しか云ってこない
1. いつ状態が変わかわからないのに現在
の勤務状態では不安だ

年 長 児

1. 人手のない時は、短時間だが、みてもら
う等、しわよせがいつている
1. Y児は特別だとあきらめている
1. いろいろな悩み事や相談もあるが、相手
になってやる時間がない
1. 何をしようかと全く目が届かない

Y 児

D 君

1. 1ヶ月休校したため勉強がおくれているが
みてやれない
1. 移動が危険だが、介助してやれない

C 君

1. かまってやれないので欲求不満
1. 他児に乱暴する
1. 人のものをだまってとる
1. 甘えたくてN rにつきまわり、
洋二と二人監視をしないとけな
い時がある

幼 児

1. 人手不足で相手になれない
1. それぞれ、がまんしているが欲求不
満がある
1. 病棟での保育などまったくできず、
放置されている

チェックを要す
その他の疾患児

1. 病棟で行うリハビリテーションが
できない
1. 特発事故があれば、たちまちお手
上げである